

平成22年度の学校評価

<p>本年度の 重点目標</p>	<p>①様々な体験や世代・領域を超えた多くの人との出会いの場の提供と活用 ②生徒の可能性を引き出し、能力を最大限に伸ばすことのできる教員・生徒間の信頼関係の醸成 ③学習不振、学校不適応、発達障害など特別に支援が必要な生徒についての日常的な情報交換と組織的対応 ④ホームページ・中学校訪問などを通じた的確で迅速な情報発信 ⑤安全で快適な教育環境の整備 ⑥組織及び個人の両面におけるコンプライアンスの徹底</p>		
項目(担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
<p>学習指導</p>	<p>65分授業の充実と授業改善</p>	<p>3年間を見通した実践的な学習指導計画を立てる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教科会との連携を充実させ、よりよい教材の開発と精選を進め、情報を共有する。
	<p>生徒の学習状況の把握</p>	<p>生徒の多様化に対応した適切な学習指導や学習活動を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 新入生に対する学習導入を工夫し、「学習案内」の活用を図る。 「授業感想アンケート」や「学習状況等総合調査」の結果を活用し、生徒の意識の変化や学習面での問題点について職員間で問題意識を共有し、その解決策を検討し改善に努める。
<p>生徒指導</p>	<p>基本的な生活習慣の確立</p>	<p>遅刻、早退、欠席の理由を把握して適切な指導を行う。 身だしなみについて日常的に意識させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 統計資料を活用して遅刻過多者の指導を行う。 学年の傾向を把握し、細かな統計資料を学年会に提供し、連携を図る。 遅刻が多発する時期には、集中的な指導を実施して指導効果を高める。 身だしなみ指導期間を設定して生徒の自覚を促し、指導の組織化を図る。 保護者との連携を図り、理解と協力を得る。
	<p>学校安全の推進</p>	<p>生徒の安全について組織的に対応する。 生徒の交通安全への意識高揚を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 防犯マニュアルを活用して、組織的な対応を図る。 交通安全LTや広報活動を実施し、交通事故統計を活用して危険箇所を把握し注意を与える。 警察と連携し、安全教室に積極的に参加する。 職員とPTAとの連携による交通安全指導日を設け、危険箇所の街頭補導を行う。
	<p>教育相談の推進 生徒指導</p>	<p>予防的な教育相談活動に取り組む。 不適応生徒を早期に把握し、組織的な対応を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 検査を通して予防的な教育相談活動を研究し、集団としての精神健康度を向上させる。 生徒の精神的健康状況や不適応生徒についての職員理解を高める。 スクールカウンセラーと連携をとり、生徒のケアに努める。 学年会、養護教諭との連携を強化して職員に不適応生徒の理解を促し、組織的な対応を図る。
<p>進路指導</p>	<p>①進路選択能力の育成 ②自分にあった進路設計 ③進路目標の堅持と幅広い視野の育成</p>	<p>「進路たより」を定期的に発行し、進路意識を高める。 一貫性のある進路指導を行う。 将来を見越した進路指導を心がける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 進路LT及び各種の大学説明会の充実を図る。 一貫性のある進路指導を目指す。 より高い進路目標の設定とその実現に向けて、指導の統一を図る。 校内実力テスト、土曜講座、補習授業の充実と改善を図る。

生徒会活動	部活動の充実	部活動と学習との両立の実現	<ul style="list-style-type: none"> 顧問会議と部長会議を有効に活用し、各部の顧問や部長の間での連絡調整を密にして、バランスの取れた部活動のあり方を目指す。
	生徒の力で作り上げる生徒会行事	生徒会執行部、各常任委員会が主体的に活動できている。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒会執行部を中心とした指導体制を確立させ、教員の適切な指導の下に企画・運営する。 学校祭等でこれまで培ってきたものを継承・改善させ、各担当のリーダーを育成する。また、生徒の力で各種行事が運営できるように意識を高めていく。
学校図書館	図書館の利用機会、利用者数、本の年間貸出冊数の増加	図書館の利用機会、利用者数、本の年間貸出冊数を増加させる。	<ul style="list-style-type: none"> 授業、SSHなどで図書館が利用しやすいように整備と充実を図る。 書籍の配置換え、各教科推薦図書のコナーの設置などを行う。 新書を充実させる。 「図書館たより」の中で、定期的に新刊紹介を行う。
	生徒図書委員会活動の活性化	生徒図書委員会活動の活性化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 「図書館たより」を定期的に発行する。 新しい企画を取り入れ、図書館企画行事を充実させる。
学校保健	美化活動の充実	通常の清掃活動、特別清掃の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 通常清掃、大掃除を通して校内美化の徹底を図る。 校内外美化活動、スノコ清掃、側溝清掃の充実を図る。
	保健教育の充実	ゴミの分別、減量、リサイクルを徹底させる。心身の健康や安全指導の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒保健委員会を中心に、ゴミの分別、減量、リサイクルの意識をより一層高めさせる。 生徒保健委員会で水質検査、「保健だより」の発刊や広報活動を行う。 熱中症を始めとする安全指導の充実を図る。
被服・ファッション創造科	知識・技術の習得と想像力・実践力の育成	生徒の興味関心に応じた、ファッション創造や保育に関する専門的な知識や技術を習得させる。	<ul style="list-style-type: none"> 校内外における研修や講習を通して、新しい時代に適応できる創造力や実践力を養成する。 豊かなライフスタイルを創造する能力と態度を育てるとともに、多様な進路希望に対応する。
	地域社会に貢献する人材の育成	地域社会が求める資質や能力の育成を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 地域の行事への参加や作品発表会等の教育活動を発信することにより、教育の成果を地域に還元する。 社会人講師による講習会やインターンシップ等を通じて感性を磨き、地域社会の求める資質及び能力の向上を図る。
総務	広報活動の活性化	正確な情報を、分かりやすく、迅速に発信する。	<ul style="list-style-type: none"> ホームページの内容を見直し、より見易いものにし、内容の更新を迅速に行う。 学校要覧をより見易いものとする。
	学校と保護者との協力体制の充実	学校と保護者のよりよい協力体制の確立を図る。	<ul style="list-style-type: none"> P T A 総会や保護者懇談会・アンケートを通して保護者の意見や要望を把握し、諸活動の改善につなげる。
	学校行事の精選と充実	学校行事のねらいと効果についての検証を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 各分掌及び学年との連絡を密にし、問題点を修正していく。
学校関係者評価を実施する主な評価項目		<ul style="list-style-type: none"> 学習指導における授業改善と多様化する生徒に対応した学習活動の推進について 生徒指導における基本的生活習慣の確立について 部活動と生徒会行事の充実について 	